

です。岩子は、熱心に教育の大切さと、学校を建てる必要を説き、断わられても、断わられても、そのつど民政局に足を運びました。そしてついに、岩子の努力が実り、学校を建てる許可を得ました。

明治二年（一八六九年）六月、校舎ができあがり、小田付おだつき幼稚園と名づけて、元日新館の教師をまねいて、読書、習字、そろばん等を教えました。この小田付幼稚園は、明治五年（一八七二年）政府が学校の制度をきめたので、わずかな期間でとぎさされましたが、多くのりっぱな人たちを育てあげました。

東京へ

東京へ行っていた長男の祐三ゆうぞうが帰ってきて、話をしてくれました。

「お母さん、東京の深川ふかがわというところには『救養会所きゅうようかいしよ』があつて、そこでは、